



ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ安全で安心な北海道～

令和7年中に発生した 長万部町の

交通事故を分析

運 転者には、車を運転する中で起こりうる状況を予測しながら、危険を回避することが求められています。

しかし、交通事故の多くは運転者のほんのわずかな不注意によって発生し、予期せぬ悲劇を生んでいます。被害者になっても加害者になっても一瞬のうちには幸せな家庭を崩壊させてしまうのが交通事故です。

全国の交通事故死者数は、統計が始まった昭和23年以降過去最少の2,547人で昨年より116人減少となりました。

最も多かった昭和45年の1万6,765人と比べて6分の1以下となりました。

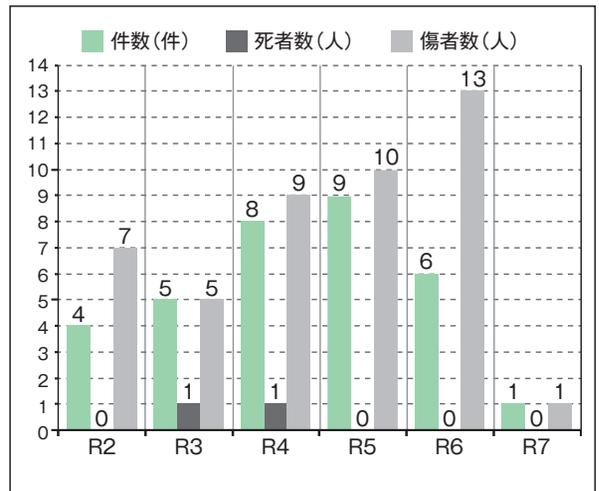
北海道の交通事故死者数は前年より25人増加し、129人と神奈川、東京に続いて全国ワースト第3位となりました。

道内では多くの方が交通事故の犠牲となっており、特に飲酒運転による事故、高齢者の事故も多く見受けられます。

悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも減少させるため、飲酒運転は厳禁、スピードは控えめに、車間距離を十分にとり前方を確認し、ブレーキは早めに掛け衝突を回避するよう努めましょう。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年一年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

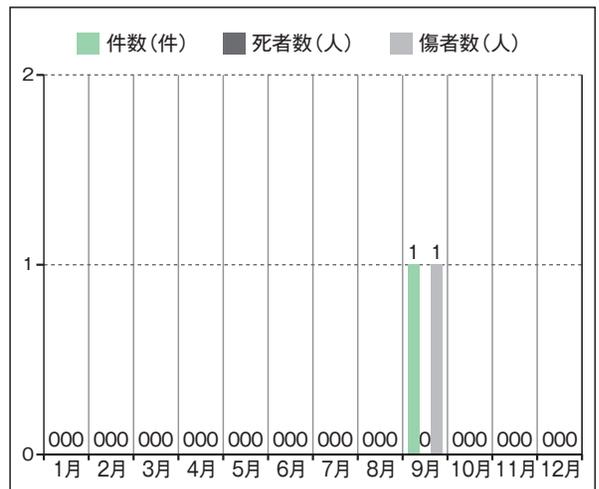
年別町内発生交通事故の推移



**死亡事故ゼロも
事故件数増加**

長万部町内で昨年発生した交通事故は1件で、傷者数は1人、死者数は0人で死亡者数ゼロ日は1,267日継続しました。北海道全体における交通事故死者数は、前年と比べて25人増え129人となり、道内の特徴として、全国に比べ電柱への衝突、路外逸脱などの「車両単独」事故が3割を超え大幅に増加、また路面凍結によるスリップ事故の割合も高くなっております。これらは、道内の道路の大部分が中央分離帯を持たない2車線道路が占めていることが原因と推測されています。

月別町内発生交通事故の推移



**交通事故の多くは
国道5号線で**

道路別の発生状況では国道5号で1件、国道37号での発生はありませんでした。比較的に見通しの良い道路であることが、速度の出し過ぎや無理な追い越し運転の原因になっていると考えられます。

また、一般的に事故を起こしやすい場所としては、市街地の信号機のない交差点、直線道路と比べて見通しが悪く、出会い頭の衝突や右折車と直進車の衝突事故などが発生しやすいです。このような場所を運転する際には、一時停止や徐行を心がけ十分注意しましょう。

**安全運転義務違反が
事故の原因に**

事故類型別の発生状況では車両相互で1件発生しています。法令違反別の発生状況では、安全運転義務違反による前方不注意による事故が1件発生しています。

ちょっとした気の緩み、わき見運転が大きな事故に繋がります。あなたと相手の一生を台無しにしてしまいます。便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になってしまいます。車を運転するときは、心に余裕をもって速度を抑え、十分な車間距離をとり、適度な緊張感をもって運転しましょう。